

多くの人に好まれる色

「同じ色の服をたくさん買ってしまう」「同じ色の文房具をたくさん持っている」というように、気が付けば身の回りのものが好きな色のものばかりになっていたという経験はないでしょうか? 「好きな色」のことを指す「嗜好色」という言葉がありますが、無意識に好きな色のものを手に取り、また無意識に嫌いな色を遠ざげてしまうことは全く不思議なことではないですよね。

では、世界中の人々最も好まれている色は青色だということをご存じでしたか? 実は、日本人に限った統計でも一番人気のある色は青色であるという結果が出たそうです。今回は、そんな青色にまつわるお話をご紹介します。



青色といえば?

青色といえば「知的」「クール」「誠実」といった印象を持っている方も多いのではないでしょうか。青色から連想する代表的なものとして「空」や「海」があるかと思います。澄み渡る空や広大な海は、信頼や平和的イメージを与え、青色の持つイメージにふさわしいと言えます。



1型・2型色覚特性の人が識別できる!

色覚特性とは、通常の色の見え方が難しいことを指します。日本人男性の場合、赤い光を識別しづらい1型は1.5%、緑の光を識別しづらい2型は3.5%いると言われています。青い光を識別しづらい3型もありますが、割合は非常に少ないです。そのため、青色は大半の色覚特性の方が識別しやすい色と考えられています。しかし、色の見え方には個人差があるのはもちろん、加齢等により青色の識別が難しくなることもあります。絶対に全員に見える色はないということを心に留めておきましょう。

コーポレートカラーとして人気!

青色はコーポレートカラーとして世界で一番多く使われている色です。青色は信頼感を与える色なので、企業の誠実さを印象づけるためには最も効果的な色であると言えます。ちなみに日本企業では、活発な印象を与える赤色が一番人気のようです。

ネガティブなイメージも…

英語のBlueには「憂鬱な」「陰気な」という意味があるように、青色は孤独さや寂しさを与える色でもあります。気分が沈んでいる時に「ブルーな気分」と言うことがありますよね。また、色名が入っている「ブルース(Blues)」という音楽ジャンルは、アメリカに渡った黒人奴隸によって歌われたことが始まりです。

暗い場所で目立つ!?

色が見えるのは、網膜内の視細胞である錐体細胞と杆体細胞が働くためです。錐体細胞は色の識別が得意ですが、低感度なため十分な明るさがないと働きません。暗い場所で色の識別が難しくなるのはこのためです。反対に暗い場所で働く杆体細胞は、明暗に対して非常に高感度です。杆体細胞は青色の感度が高いため、暗い場所で赤色と青色を比べて見ると、青色の方が明るく見えるのです。

強いエネルギーを持つ色

数年前から「ブルーライト」という言葉をよく耳にするようになりました。ブルーライト自体は太陽からも放出されている光で、適度に浴びることで体内時計を整えるという大事な役割を果たしています。ブルーライトは380~500nmの波長の短い光で、波長が短いと強いエネルギーを持つと言われています。そのため、PCやスマートフォンの普及によりブルーライトを浴びる時間が増えた近年、人体への悪影響が心配されるようになりました。



慣用色で見る青系色の一例

※慣用色は印刷での再現が難しいため、実際の色と見え方が異なる場合があります。

空色 明るい青	藍色 暗い青	瑠璃色 こい紫みの青	浅黄色 あざやかな緑みの青
群青色 こい紫みの青	新橋色 明るい緑みの青	納戸色 つよい緑みの青	杜若色 あざやかな紫みの青
縹色 (はなだいろ) つよい青	ターコイズブルー 明るい緑みの青	マリンブルー こい緑みの青	甕覗き (かめのぞき) やわらかい緑みの青
スカイブルー 明るい青	ベビーブルー 明るい灰みの青	コバルトブルー あざやかな青	シアン 明るい青
ウルトラマリンブルー こい紫みの青	セルリアンブルー あざやかな青	サックスブルー くすんだ青	ネービーブルー 暗い紫みの青
			ミッドナイトブルー ごく暗い紫みの青

デザインの種

今回のテーマ：
「青色が使われる理由と与える効果」

多くの人々から好まれる青色は、身近にあるものにも使われています。代表的な物の1つに、一般道の案内標識があります。

案内標識の色は「標識令(道路標識、区画線及び道路標示に関する命令)」によって定められています。一般道は青色×白色、高速道路は緑色×白色が使われていますが、その理由は「視認性が高いから」です。

視認性とは、意識して対象を探す時の認識のしやすさのことを言います。視認性を高めるには、背景色と対象の色の明度差を大きくすると効果的です。一般道の案内標識は、くっきりと明るい青と明度差のある白色を組み合わせることで視認性を高めています。ちなみに、鉄道の案内標識によく見かける黒色×黄色の組み合わせも視認性の高い配色と言われています。また、表面の「暗い場所で目立つ!？」の項目にもあるように、青色は薄暗くなってもドライバーから視認されやすいという利点があります。



青色が与える効果

- ①集中力を高める。
- ②興奮を抑えて、
気持ちを落ち着かせる。
- ③涼しさを感じ、
体感温度を下げる。
- ④頭の回転を速める。
- ⑤冷静な判断力を高める。



案内標識に青色が採用されているのは、上記で述べた「標識令で定められているから」「視認性が高いから」という理由の他にも諸説あるようです。少し見方を変えて、案内標識を青色にすることによるドライバーに与える効果について考えてみましょう。右のように、青色はドライバーにとって良い効果を与えていていると言えるのではないでしょうか。

ちなみに、赤色が使われている「止まれ」等の標識は、ドライバーに危険や注意を促すために効果的な色で、青色とは違った効果を与えています。

止まれ

今回は人気色である青色を取り上げ、詳しくご紹介しました。このように身の回りにあるものには、その色の性質や効果を活かして配色がされていることが分かります。今後、身の回りにあるものを観察してみると、新しい発見や配色を考える際のヒントを得られるかもしれません。あなたの嗜好色が使われているものや、その理由と効果を調べてみるのも面白いですよ！

イロイロ雑学

お風呂の水の色は なぜ青い？

家のお風呂などの、白色の浴槽に張られた水の色が青く見えることを不思議に思ったことはありませんか？

その理由は光と色の性質にあります。例えば、雨上がりに見かける虹はきれいな七色に見えます。光を波長ごとに分けると、虹のように長波長側から赤→橙→黄→緑→青→藍→青紫の順に並んでいます。この光が物体に当たった時、表面で①反射、②吸収、③透過のいずれかが起こります。

浴槽の白色は①に該当し、ほぼ全ての波長の光を反射するため白く見えています。その白色の浴槽に張ってある水の場合は①②の2つが起こります。水は赤・黄系統の光を吸収しやすい性質を持っていて、青い光は水中の細かい粒子にぶつかって、色々な方向に飛び散って反射します。私たちは反射された光により色を識別することができるため、水が青く見えているのです。



色彩を使った印刷物で、より良いコミュニケーションを！

次回も

Let's カラコミュ!!